

江府町地域おこし協力隊通信

～今年度の活動に対しての思い～



とうの たつや
東野 達也
ジビエ活用コーディネーター

大阪から江府町に来て約1年が過ぎ、ジビエの活動に携わせて頂きました。捕獲から販売までを経験し、また獣害の実情を目の当たりにしました。学生時代に動物福祉について研究していた為、大阪に帰れば「動物福祉（愛護）ちゃんかい！」と皆に言われます。この1年の経験を通して、「動物福祉だからこそ！」と胸を張って答えられるようになりました。これからも、もっとジビエ肉を身近な存在に、そして狩猟やジビエの魅力を広められるような活動を心掛けます！



しろ かずのり
城 和典
文化財保護サポータースタッフ
(江美城主)

昨年9月に着任し、早くも約半年となりました。この半年間は町に慣れること、担当する業務に慣れること、という準備段階の時期でしたが、来年度からは実績作りの1年となります。残りの任期でどれだけのことができるかはここからの1年にかかっていると思いますので、しっかり取り組んでいくつもりです。引き続きよろしく願いいたします。



さわやま しゅう
沢山 周
ジビエ活用コーディネーター

昨年9月からの任期なのでまだ一年経っていませんが、日々濃密な時間を過ごしています。活動を通して、人の生活圏の意外と近くに鹿やイノシシが生息していることを実感したと同時に有害鳥獣による農業への影響が、決して他人事ではない身近な課題であることも理解するようになりました。ジビエの取り組みに携わる中で、命をいただくことの重みと、その命を無駄にしない、正しい循環の大切さを忘れず、今後はジビエの特性を活かした新しいことにも挑戦していきたいと考えています。これからも季節の移り変わりを体感しながら、ジビエへの理解につながる活動をしていきます。



わたなべ ゆみこ
渡部 裕美子
二地域居住推進コーディネーター

「あなた何しているの？」と月に数回…わかりづらい仕事をしています。私は、江府に興味関心を持っている方が訪れ、移住を考えたり、町を知って親しみを持ち、観光に留まらず地域のちょっと困ったことに役立つような関わりが出来るようになるための受け皿づくりを進めています。郷土愛をもって関わって下さる地元の方の存在が肝です！夏から様々な場面でご協力ありがとうございました。新年度もどうぞ宜しくお願いします。



おの はじめ
小野 大
町営交通ドライバー

令和7年11月1日から協力隊として着任致しました小野大です。人間の身体の大部分が水分で構成されている「水」その水が美味しい地域への移住先を探し、北は青森県、南は宮崎県へ車中泊しながら「湧水」を取水して回りました。結果は「雪国」の水に行き着きました。今年に還暦を迎える年齢で移住先に馴染みやすい手段として「協力隊」をキーワードで探していたところ、江府町でのバス運転手の募集を見つけ応募しました。その縁で協力隊に着任させて頂きましたので、地域に貢献して行く所存です。

江府町地域おこし協力隊通信

～今年度の活動に対しての思い～



さとう かんた
佐藤 幹太
奥大山パークレンジャー

この3年間、普通に働いて暮らしていたら出会えなかったものに沢山出会い、気づけなかったことにも沢山気づくことができ自分の生き方を見つめ直せる、とてもいい時間になりました。今まで自分と関わってきてくださった多くの方々にとっても感謝しています。そして今後とも引き続きよろしくお祈いします。



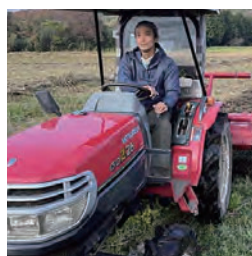
ごくだ けんた
後工田 健太
移住定住支援員

今年度はこれまでの活動を通して感じた、“地域の方々や移住者が交流できる場作りをしたい！”という思いから、アースバッグ建築について学び、実際に制作してみました。アースバッグ工法は地球環境にも配慮した建築で、誰でも自分の手で生み出せる事。何より作業は楽しく、土に触れる大切さを学びました。今年度で地域おこし協力隊を終え新たな道へ進みます。3年間ありがとうございました。



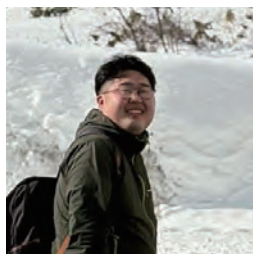
かねこ よしかず
金子 与志一
奥大山 YouTuber

江府町に移住し、江府町 NEWS 制作を始めて早2年弱。
沢山のイベント現場に赴く→沢山の町民さんと接する→沢山の町民さんと顔見知りになる＝何十年も暮らしているかのような感覚を得る。お陰様でそんな公式が完成しました。
任期は残り1年。心長閑に全うできれば…と。



かどた ひょう
門田 表
奥大山農業公社支援員

地域おこし協力隊として江府町に来て、あっという間に二年が経ちました。2年目は農業公社でもお世話になりながら、任期後の住まい探しにも挑戦した一年でした。その中で、農業の担い手や作業の段取り、空き家のことなど、これまで「どこかの課題」だったものが、少しずつ自分ごととして見えてきたように感じています。残りの任期では、任期後も江府町に暮らし続けられるよう、町の皆さんと一緒に、小さくても前に進む取り組みを重ねていきたいです。今後ともよろしくお祈いします。



いまおか ひろかず
今岡 寛和
奥大山パークレンジャー

2年目は生物調査イベントをおこなったり、自身で野鳥の死亡個体(受領したもの)を標本にしたりと1年目のフィールドでの調査や整備中心の活動からは異なる動きで、色々なことを学ばせてもらいました。まだまだ町の中で知らないことがたくさんあるなど！3年目はより人、生き物、自然と濃く関わっていけたらと思います。



まつもと ゆきえ
松本 幸江
コミュニティ図書館支援員

今年度は、図書館と連携して、子どもから高齢者まで気軽に参加できる講座や環境づくりに取り組みました。おもちゃ作りや巣箱作りの講座は多くの方に楽しんでいただき、児童コーナーの充実によって子どもが安心して過ごせる空間も整いました。継続事業のカフェラテ講座やアイシングクッキー講座も好評で、赤ちゃんおもちゃの導入により親子や祖父母と孫の来館も増えています。今後も、図書館が地域の交流拠点としてより親しまれるよう、協力隊として取り組みを進めていきます。